

間接部門の経理を、 社長・社員・各部門をつなぐ「関節」役に。

金庫番・少人数部門だからこそ、ブラックボックス化してはいけません。

オープンなほど、良い経理です。

そして「間接」部門は、「関節」。経理こそが、社内の「関節」役になって欲しいですね。

○経理のアウトソーシング・経理改善

単なる経理代行ではありません。

社内事情をより深く理解して、月次決算会や資金対策に活かすための土台です。

○もし経理部門が、こうなったら要注意。

- ・ やり方を変えたがらず、自分の縄張りを現状維持する。
- ・ 預金通帳の入出金が複雑で、頻度も多い。
- ・ 特別な仕事をしている雰囲気を出す。
- ・ 社業とは直接関係のない金融取引に手を出す。